

内視鏡実践能力評価表レベルⅢ(中堅)			氏名	評価者	
目標	内視鏡検査・治療に伴う看護を総合的に判断でき、根拠に基づいた看護実践ができる		年 月 日	年 月 日	
看護実践能力	項目(38)		自己評価	上司評価	
	知識	理論的知識	①対象の現在の状態・病状の理解に幅広い知識を統合し活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1
実践的知識		②身体的・心理的・社会的知識を総合し応用できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
	③社会資源に関する知識を対象のQOLに結び付けて活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1		
	④事例を通して学んだ知識を活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1		
判断		⑤一連の流れを通して対象の今後の課題が明確になる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑥得られたデータから看護過程を踏まえて活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①状況を全体として捉え変化の予測が図れる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②対象を包括的に捉える	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③状況判断をするにあたり、先の見通しを考慮した優先順位を考慮することができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		④対象の外面的側面(家族・キーパーソン・教育背景・社会的役割など)に目を向けられ社会的状況を汲み取れる	4 3 2 1	4 3 2 1	
行為		⑤対象の内的側面(性格特性・感情・価値観など)に関心を払い配慮することができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑥状況に関わる対象がかかえるであろう心理的側面においても又捉える	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①対象が気付いているニーズを把握できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②選択できる行為を多く持ち、迷わず実施できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③対象のニーズに合わせて工夫できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		④判断と同時に行動がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑤偶発的な出来事に対して速やかに対応できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑦円滑で対象に合わせたコミュニケーションがとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
マネージメント能力		⑧効果的な方法で問題解決できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①内視鏡室の特殊性・業務内容を理解し、看護業務改善にむけて建設的な意見を述べる事ができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②内視鏡室の目的・目標を達成するための活動を推進し達成度の評価に参加できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③内視鏡室の物品管理システムを効率よく活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		④物品管理システムを理解し経済的な側面より見直すことができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑤状況に応じたリーダーシップが発揮できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
人間関係調整能力		⑥緊急事態を把握し、指示・行動ができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①患者・家族の意思を尊重しながら自己決定に積極的に関わる事ができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
教育・研究能力	自己	②患者・家族を中心とする医療チームの中で調整役割をとることができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①自己の能力開発のためのプログラムを自分で探して積極的に参加し、その結果を実践に活用することができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
	他者	②社会人・職業人としてのすぐれた態度・行動が日常を通して身についている	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①専門知識を活用し内視鏡看護師の指導的役割がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②各看護単位の教育プログラムに参加し、指導者としての役割がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
	患者	③看護単位の学習ニーズを査定し、その企画に参加し教育的役割がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		①対象の状況を踏まえながら予測性や計画性を持った指導教育ができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②指導結果を評価し次に生かすことができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		研究	①看護研究や研究的な取り組みを計画しスタッフとともに実践する事ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②研究的な取り組みを実践し看護の専門性を深めることができる	4 3 2 1	4 3 2 1
③研究的な取り組みの結果を発表できる	4 3 2 1		4 3 2 1		
④研究的な取り組みを行うことで問題解決ができる	4 3 2 1		4 3 2 1		
総合評価(%)			合計 点	合計 点	